



あなたの沖縄に出会う

沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

令和5年度博物館企画展

2023 9.22.金



11.19.日

琉球と倭寇の物語

海を越える人々
(前期)

沖縄県立博物館・美術館 [会場] 博物館特別展示室

【開館時間】 9:00~18:00(金・土は20:00まで) ※入場は閉館の30分前まで 【休館日】 毎週月曜日・10/10(火) ※ただし、10/9(月)は開館

【主催】 沖縄県立博物館・美術館

【協力】 国立歴史民俗博物館／東京大学史料編纂所／國學院大學図書館／喜界町教育委員会／うるま市教育委員会／沖縄県立埋蔵文化財センター／那覇市教育委員会／八重瀬町教育委員会／久米島町教育委員会／宮古島市総合博物館／宮古島市教育委員会／諸見民藝館

【後援】 沖縄県教育委員会／株式会社沖縄タイムス社／株式会社琉球新報社／沖縄テレビ放送株式会社／琉球放送株式会社／琉球朝日放送株式会社／NHK沖縄放送局／株式会社ラジオ沖縄／FM琉球株式会社(FMレキオ)／株式会社エフエム沖縄／沖縄県立博物館友の会／沖縄考古学会／琉球物流株式会社／株式会社宮古毎日新聞／株式会社宮古新報／琉球沖縄歴史学会



船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の支援を受けて開催しています。

琉球と倭寇の物語 海を越える人々(前期)

倭寇とは、「倭(日本)による侵略」という意味で、中国や朝鮮では日本人海賊と表しています。
本展では、中世東アジア海域とはどのような世界であり、人々が海を越えていこうとする
目的は何であったのかについて14世紀～16世紀の琉球と倭寇の動きを中心に見ていきます。

第1章 倭寇の姿とその動き

倭寇による被害が14世紀後半から15世紀前半にかけて中国大陸沿岸部
で多発し、さらに16世紀には海を越えて密貿易を行う人々が増加します。
それに伴い各地で治安が悪化していきました。
本章では倭寇とそれを取り締まる側の姿を当時の資料から見ていきます。

第2章 倭寇の活動時期に 展開された琉球の交易

倭寇による活動が活発化していく14世紀後半から、琉球は対外関係を積極
的に展開していきます。それに伴い海外諸地域から多くのモノが搬入されま
した。琉球における対外交の実態と琉球各地にもたらされたモノを遺跡
から発掘された資料を通して見ていきます。

第3章 倭寇の足跡を追い求める

倭寇が来琉したことを示す記録はほとんど見ることはできません。
しかし、戦後において琉球列島における交易の実態を明らかにしよ
うとする研究や琉球列島における倭寇の痕跡を探ろうとした研究が
あります。本章ではそれに関わった研究者を紹介します。



脇指 名護市源河ウエーキ



ウフブリ崖下洞穴遺跡採集古銭
(八重瀬町教育委員会所蔵)



那覇湊模型

倭寇が活動した海域は無秩序な空間でした。
しかし、現在は海を越えた人の移動や
物資の移動は早く、確実になり
秩序だった海域に変化しています。
戦後沖縄の物流システムを見ながら、
海を越えることの意味を探っていきます。

関連イベント

- その1 プレイベント
博物館学芸員講座
「中国大陸沿岸部と琉球における倭寇関連の史跡
―企画展『琉球と倭寇の物語』開催に向けて―」
9月2日(土) 午後2時～午後4時
【講師】山本正昭(当館主任学芸員)
- その2 博物館文化講座「倭寇図巻を読む(仮)」
9月30日(土) 午後2時～午後4時
【講師】須田牧子氏(東京大学史料編纂所)
- その3 博物館文化講座
「琉球と倭寇の物語」関連シンポジウム
10月8日(日) 午後1時30分～午後5時

- その4 沖縄県立博物館友の会主催ワークショップ(共催:沖縄県立博物館・美術館)
① 交易で使われた琉球の銭
「世高通宝」をつくってみよう
10月22日(日) 午前10時～午前11時30分
【講師】山本正昭(当館主任学芸員) 【参加費】500円
- ② お香を体験しよう
10月22日(日) 午後1時30分～午後3時30分
【講師】伊禮拓郎(当館学芸員) 【参加費】700円
- その5 企画展担当学芸員による展示解説会
① 9月22日(金) 午後6時～午後7時30分
② 11月18日(土) 午後6時～午後7時30分

各イベントの
詳細はWebで!

一般	1,000円(800円)
大学・高校生	600円(480円)
小・中学生	400円(320円)

プレイガイド:ミュージアムショップゆいむい、ローソンチケット(Lコード82256)

※()内は前売料金および20名以上の団体料金
※未就学児無料
※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方と介助者1名までは無料

後期展示予告

海を越える人々(後期)旧石器時代の人類
12月12日(火)～2024年2月12日(月)

